

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年3月4日

事業所名 ひっぽファミリー桃ヶ池

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		自由に動ける空間を作っている	危険な物は置かないようにしている
	2 職員の配置数は適切である	8			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		子どもが動きやすい空間にしている	継続していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		ミーティングを行い共有している	継続している
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		定期的に参加している 社内で研修内容を共有出来るようにしている	勉強会などの機会をもっと増やしていきたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		面談時に保護者と情報共有を行っている	月1度見直しをしている
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		細かいことでも情報共有している	定期的なミーティングをする
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		ミーティングで決定している	継続していく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		ラジオ体操などは就学した時の為継続しているが、子どもたちの希望も取り入れたプログラムも行っている	これからも工夫が必要
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		個別プログラムと全体プログラムを毎回行い個人の達成度に応じて支援計画に反映させている	継続していく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・毎朝のミーティングで確認している。	更に細やかな支援を行えるように役割の細分化を行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		連絡帳で確認し改善に繋げている。	継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			継続していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			継続していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		・相談支援員、保護者を通じ連携を行っている。	・相談支援員、保護者との連携を念密に行っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	1	・直接連絡取れていないが保護者を通じて情報共有している。 ・保護者を通じて情報共有。	個人情報も関係してくるので保護者の了承のもと医療機関との連携も行っていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	・直接連絡取れていないが保護者を通じて情報共有している。	個人情報も関係してくるので保護者の了承のもと関係機関との連携も行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	・保護者を通じて情報共有。 ・直接連絡取れていないが保護者を通じて情報共有している。 関わりがない。	個人情報も関係してくるので保護者の了承のもと関係機関との連携も行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	4	・利用児の兄弟が行事に参加。 ・公園などで関わりを持っている。	コロナ禍が収束次第再開していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8		阿倍野区の部会に参加している。	コロナ禍が収束次第再開していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・連絡帳や送迎時に伝え合いを行って	・今後も継続していく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8		・外部研修の案内をしている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・契約時に保護者に丁寧に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		・保護者と面談時に確認し、同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・面談を定期的に行っている。 ・電話や送迎時にその都度支援を行っている。	・今後も継続していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	利用している保護者の会に協力して頂き、案内を行っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		その都度対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		月に1度お便りを発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		鍵付き書庫で管理し、その都度施錠している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		コロナ禍が収束次第再開していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		毎月、第一土曜日に避難訓練を実施している。	今後も継続していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・月1で利用児と共に行っている。	今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		・実際に1人の子どもに対しての服用を母が行い目の前でやり方を確認した。	今後も継続していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		・保護者を通じて情報を頂いている。	今後も保護者の情報のもと継続していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		小さい出来事もヒヤリハットに記入している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		福祉局からの虐待防止研修を行い定期的に内部研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		・現在、支援の対象者がいない。	支援対象者が利用になれば保護者に丁寧に説明し了解を得ていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。